

2019年度
研修案内

とやま型地域共生社会を担う人づくり

社会福祉法人 富山県社会福祉協議会

富山県福祉カレッジ

はじめに



富山県福祉カレッジ学長
大橋 謙策

少子高齢化の急速な進展や生産年齢人口の減少、共働き世帯の増大等による子育てや介護の支援ニーズの高まり、核家族化・ひとり親世帯の増加、地域のつながりの希薄化、低所得・貧困層の拡大、さらにはますます多様化・複雑化する福祉ニーズの対応など、家庭内・地域内の支援力が低下する中、福祉サービス従事者に求められる役割は従来の枠を超えて増大する一方です。

こうした中、国においては、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と地域資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域とともに創っていく「地域共生社会」の実現を目指すこととされ、県でも改定県民福祉基本計画において「誰もが安心・幸せを感じる とやま型地域共生社会の構築」が目標とされています。

人材確保の面からは、キャリアアップの仕組みが構築され、介護や障害、保育の技能・経験を積んだ職員に追加的な処遇改善が行われるなど、福祉サービスを安定的に提供する施策にも取り組まれています。

このような福祉を取り巻く環境の中で、質の高い充実した福祉サービスを提供していくためには、従来にも増して、福祉人材の質の向上、ひいては職場定着の促進に向けた対応が重要不可欠です。

富山県福祉カレッジは福祉従事者の人材養成・育成機関として、次の4つの研修体系に沿ってカリキュラムを編成し、実効性のある研修の実施により「とやま型地域共生社会」の形成を担う人材の育成に努めます。

1 ソーシャルワーク・多職種連携研修

- ますます多様化・複雑化する地域の福祉ニーズに対応するため、従来の福祉の枠を超えた職種横断的、専門職志向型研修を通して、幅広い専門職相互の連携強化や実践的な課題に取り組みます。
- コミュニティソーシャルワークの基本及び実践を通じた事例検討を行い、地域福祉活動の中核を担う福祉従事者の資質向上を図ります。

2 ケアワーク研修

- 新しい福祉・介護機器の情報を提供するほか、福祉・介護機器を活用することで、利用者自身の自立を引き出し、介護職員の身体に負担の少ない介護技術を推進していきます。
- 福祉施設の求めに応じて、施設が抱える諸問題への対応策などについて、積極的に研修テーマに取り入れます。

3 福祉サービス経営研修

- 福祉職員自らがキャリアアップの道筋（キャリアパス）を描き、それぞれの段階に応じて共通に求められる能力を段階的、体系的に習得する生涯研修課程研修を、あらゆる事業種別・職種を横断した福祉職員全般を対象に実施します。
- 福祉事業者のニーズ対応型サービス開発と社会福祉法人の地域貢献を考えるセミナーを実施します。

4 目的課題別研修

- 福祉施設自らが意識を高め、研修に取り組むことにより、サービスの質の向上を推進できるように支援します。
- 職員の定着を促進し、福祉従事者一人一人が問題意識を持って前向きに業務に当たることができるよう、組織の活性化に着目した研修を実施します。

福祉・介護職場での人材不足の状況が続く中、「研修」の持つ意義はますます重要となっていきます。当カレッジでは、研修のあり方について幅広く県民の皆さんからのご意見にも耳を傾け、積極的にカリキュラムに反映していく所存です。忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

当カレッジの研修が県民のニーズに的確に応え、実り大きなものとなりますことを祈念いたします。

2019年3月

2019年度 富山県福祉カレッジ研修体系

体系区分	研修名	担当	実施区分	
ソーシャルワーク・多職種連携研修	1 専門多職種連携セミナー	教務課	補助	
	2 地域福祉計画セミナー	教務課	補助	
	3 地域包括ケアとコミュニティソーシャルワーク	教務課、地域福祉部	補助	
	4 相談援助技術研修	教務課	補助	
	5 子育て支援研修	教務課	補助	
ケアワーク研修	6 福祉用具体験講座Ⅱ	介護実習・普及センター	委託	
	7 らくらく介護講座	介護実習・普及センター	委託	
	8 介護技術向上研修	介護実習・普及センター	委託	
	9 腰痛予防推進研修 (腰痛予防研修、フォローアップ研修、リフトリーダー養成研修)	介護実習・普及センター	補助・委託	
	10 腰痛予防指導者育成研修(基礎研修、フォローアップ研修)	介護実習・普及センター	補助	
	11 腰痛予防対策取り組み事例報告会	介護実習・普及センター	補助	
	12 腰痛予防対策介護研修	介護実習・普及センター	補助	
	13 腰痛予防推進[出前講座]	介護実習・普及センター	補助	
	14 富山型デイサービス職員研修	教務課	委託	
	15 施設訪問中堅リーダー養成研修	教務課	補助	
	16 介護職員リスクマネジメント研修	教務課	自主	
	17 認知症ケア研修(初級編、応用編)	教務課	自主	
	18 観察の視点を生かした介護記録研修	教務課	自主	
	19 介護職員のためのターミナルケア研修	教務課	自主	
	福祉サービス経営研修	20 社会福祉法人セミナー 【職員キャリア支援研修】	教務課	補助
		21 初任者研修 《キャリアパス対応生涯研修課程》	教務課	補助
		22 中堅職員研修 《キャリアパス対応生涯研修課程》	教務課	補助
		23 中堅保育職員研修	教務課	補助
		24 チームリーダー研修 《キャリアパス対応生涯研修課程》	教務課	補助
25 管理職員研修 《キャリアパス対応生涯研修課程》		教務課	補助	
目的課題別研修	26 福祉用具体験講座Ⅰ	介護実習・普及センター	委託	
	27 小・中・高生の介護講座	介護実習・普及センター	委託	
	28 福祉用具・住宅改修研修(基礎研修、福祉用具研修)	介護実習・普及センター	委託	
	29 福祉用具プランナー研修	介護実習・普及センター	委託	
	30 乳幼児(0,1,2歳児)保育研修	教務課	補助	
	31 障害児保育研修	教務課	補助	
	32 新任職員接遇・コミュニケーション研修	教務課	自主	
	33 アクティブワーキング研修(一般職員編、指導職員編)	教務課	自主	
	34 ホームヘルパー技術向上研修	教務課	委託	
	35 サービス提供責任者研修	教務課	委託	
	36 介護支援専門員更新研修	教務課	委託	
	37 介護支援専門員再研修	教務課	委託	
	38 介護支援専門員実務研修	教務課	委託	
	39 障害者(児)ホームヘルパー等養成研修	教務課	委託	
	40 強度行動障害支援者養成研修(基礎研修、実践研修)	教務課	委託	
	41 福祉サービス第三者評価評価調査者継続研修	教務課	委託	
	42 福祉サービス第三者評価評価調査者養成研修	教務課	委託	
	43 富山型デイサービス起業家育成講座	教務課	委託	
	44 民生委員・児童委員会長研修	教務課	委託	
	45 中堅民生委員・児童委員研修	教務課	委託	
	46 民生委員・児童委員課題別研修	教務課	委託	
	47 新任民生委員・児童委員研修	教務課	委託	
	48 主任児童委員研修	教務課	委託	
	49 児童委員研修	教務課	委託	
	50 ハートフル保育普及研修会(初任者研修)	教務課	委託	
	51 新 社会福祉法人監事研修	教務課	補助	
	52 新 社会福祉法人監査担当研修	教務課	補助	

補助事業：21研修 委託事業25研修 自主事業：6研修

2019年度 研修計画

ソーシャルワーク・多職種連携研修

No	研修名	ねらい	開催日程	対象者	定員
1	専門多職種連携セミナー	ますます多様化・複雑化する福祉ニーズの解決に多職種の関係職員が連携していくため、具体的事例の解決手法について検討・討議を行い、関係職員の資質向上と地域で支え合う仕組みづくりを推進します。	10～12月	福祉専門職、行政職員、社協職員、その他医療、司法等地域福祉関係専門職	60
2	地域福祉計画セミナー	地域福祉計画に携わる関係職員を対象に計画の策定から進捗管理手法を学ぶとともに、その基礎となる住民アセスメントとニーズ把握手法を習得します。	8月	行政（県・市町村）福祉担当職員、社協職員、地域包括支援センター職員等	40
3	地域包括ケアとコミュニティソーシャルワーク研修	コミュニティソーシャルワークの基本及び実践を通じた事例検討を行うことで、地域福祉活動の中核を担う福祉従事者の資質向上と地域で支え合う仕組みづくりを推進します。	(前期課程) 11/13,14 (後期課程) 12/2,3	市町村福祉担当職員、市町村社協職員、地域包括支援センター職員、障害者関係相談従事職員等	30
4	相談援助技術研修	利用者がその人らしい生活を選択するうえで大切な役割を持つ相談援助に必要な知識や対人援助技術等を再確認し、自己の業務について基本を振り返りながら、演習などの実践的な学びを通し相談業務のスキルアップを図ります。	8/22	介護保険施設で相談援助業務の従事年数が3年～7年の職員、指導員・介護職員、ホームヘルパー等	50
5	子育て支援研修	子育て支援をめぐる相談業務に必要な知識・技術を習得するとともに意識啓発と更なる専門性の向上を図ります。	10/10	県内認可保育所、認定こども園の保育士、保育教諭等、地域子育て支援センター、社会福祉協議会などで子育て支援に関わる職員	60

ケアワーク研修

No	研修名	ねらい	日程	対象者	定員
6	福祉用具体験講座Ⅱ	高齢者疑似体験・車いす体験を通して、高齢者や障がい者に対する理解を深めます。また、福祉用具を実際に体験し、福祉用具への関心を高め、利用者の目的や機能に合わせた福祉用具の活用方法について学びます。	4～3月	介護・看護職に従事する専門職及び学生	20×35回
7	らくらく介護講座	高齢者等の自立支援の促進と介護者の負担を軽減するために、福祉用具を適切に活用し、安全・安楽に介護する方法を学びます。(口腔ケアコース、排泄ケアコース、移乗関連コース、嚥下・食事コース)	(前期) 6～8月 (後期) 10月～12月	介護・看護職に従事する経験3年未満の者	40×7回
8	介護技術向上研修(住宅改修事業者研修)(排泄編)(排泄技術編)	在宅介護推進のために必要な福祉用具・住宅改修・介護技術等について、より専門的な知識・技術を習得し、介護技術の向上を図ります。 (①住宅改修事業者研修 ②排泄編 ③排泄技術編)	①-1 8/21,28 ①-2 9/5 ② 10/24,25 ③ 10/4	①住宅改修事業者 ②③福祉・介護・看護等に従事する専門職	①-1 30×2回 ①-2 30 ②30 ③30
9	腰痛予防推進研修	福祉・介護機器を適切に活用する事で両社自身の自立を引き出し、介護職員の身体に負担の少ない介護技術を習得し、腰痛予防を推進できる人材を育成します。 ①腰痛予防研修 ②フォローアップ研修 ③リフトリーダー養成研修	①-1 5/31,6/1 ①-2 6/14, 15 ② 6/14 ③-1 9/11,12 ③-2 9/11,13	施設長及び施設のリーダーとしての役割を担う職員	①30×2回 ②30 ③30×2回
10	腰痛予防指導者育成研修	福祉用具を適切に活用することで利用者自身の自立を引き出し、介護職員の身体に負担の少ない介護技術を普及、推進できるリーダーを育成します。 ①基礎研修 ②フォローアップ研修	① Aコース 6/24,7/1,7/25 Bコース 6/24,7/8,7/22 ② 8月～10月 2日間×4地区	施設のリーダー的役割を担う腰痛予防推進者	①20×2回 ②①の受講生

No	研修名	ねらい	開催日程	対象者	定員
11	腰痛予防対策取り組み事例報告会	県内外の腰痛予防対策推進施設での腰痛予防の取り組みについて、事例報告や意見交換を通し、情報を共有します。	10/26	施設長及び腰痛予防推進者	100
12	腰痛予防対策介護研修	腰痛予防対策推進福祉施設において、腰痛予防対策の実際を学びます。	11～12月	施設のリーダー的役割を担う、腰痛予防推進者	60
13	腰痛予防推進 〔出前講座〕	講師が施設へ出向き、利用者の自立を引き出す介護技術を指導することにより、職員の腰痛予防意識の高揚や行動の変容を図ります。	6～12月	これから腰痛予防に取り組もうとする介護施設・事業所等	120
14	富山型デイサービス職員研修	富山型デイサービス施設職員の資質の向上を図ります。	7～12月	富山型デイサービス施設職員	40×3回
15	施設訪問中堅リーダー研修	最新の福祉情報により実践的な指導を行う専門講師が施設へ出向き、介護技術のノウハウや施設内の諸問題に対する解決策について直接指導・アドバイスすることにより中堅リーダーの養成を図ります。	4～3月	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障害者福祉施設、地域密着型サービス事業所等	20×30回
16	介護職員リスクマネジメント研修	福祉職場で働く職員に求められる専門性を確認し、サービス向上に向けたリスクマネジメントの実践について学びます。	①5/8,28,6/13 ②9/5,6,10/17	福祉施設で介護業務に3年以上従事する者	50×2回
17	認知症ケア研修 (初級編、応用編)	サービスの理念から認知症に関する知識、ケアの実際まで学び、介護の視点、知識、技術を習得します。	①初級編 11/27,28 ②応用編 3月	福祉施設で介護業務に3年以上従事する者	(初級) 50 (応用) 50
18	観察の視点を活かした介護記録研修	介護現場における介護記録の重要性や書き方のポイントなどの知識及び技術を習得します。	①5/14 ②6/7	福祉施設で介護業務に従事する者	60×2回
19	介護職員のためのターミナルケア研修	介護施設における「看取り」の介護において多職種連携の必要性を再認識するとともに、ターミナル期における介護職員の役割、連携の在り方について学びます。	2～3月	特養、老健、グループホーム、障害者施設などで介護業務に従事する者	60×2回

福祉サービス経営研修

No	研修名	ねらい	日程	対象者	定員
20	社会福祉法人セミナー	福祉サービスを提供する法人（施設）の経営環境を取り巻く多様なニーズの変化を踏まえ、法人のあり方や社会貢献への取り組み方など、新しい時代におけるニーズ対応型福祉経営のあり方について考えます。	11/12	社会福祉法人・NPO法人の理事長、理事、監事、施設長等	40
21	初任者研修 【福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程】	サービス提供者、チームの一員としての基礎を習得し、福祉職員としてのキャリアパスの方向を示唆する(無資格者には資格取得を奨励する)。	①9/3,4 ②9/18,19 ③10/3,4	・新卒入職後3年以内の職員 ・他業界から福祉職場へ入職後3年以内の職員	60×3回
22	中堅職員研修 【福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程】	中堅職員としての役割を遂行するための基礎を習得し、中堅職員としてのキャリアアップの方向を示唆する。	①6/20,21 ②6/25,26 ③7/3,4	・担当業務の独力遂行が可能なレベルの職員(入職後おおむね3～5年程度の節目の職員)	60×3回
23	中堅保育職員研修	中堅保育職員等に必要な専門知識を深めるとともに管理、指導能力を習得します。	①6/6 ②6/19	県内保育所(園)、認定こども園に勤務する主任保育士、主幹保育教諭等、児童発達支援センター等の中堅職員	60×2回
24	チームリーダー研修 【福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程】	組織活動の管理、問題解決と課題形成等、中間管理者としての管理、指導能力を習得するとともに、今後のキャリアデザインに必要な知識を習得します。	①11/1,2 ②11/19,20	・近い将来チームリーダー等の役割を担うことが想定される中堅職員 ・現に主任係長等に就いている職員	60×2回

No	研修名	ねらい	日程	対象者	定員
25	管理職員研修 【福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程】	チームリーダーとしての役割を遂行するための基礎を習得し、チームリーダーとしてのキャリアアップの方向を示唆する。	2/3,4	・近い将来管理者の役割を担うことが想定される指導的立場の職員 ・現に小規模事業管理者・部門管理者等に就いている職員	50
参考	上級管理者研修 【福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程】 ※全社協中央福祉学院実施	・トップマネジメントとしての役割を遂行するための基礎を習得する。 ・統括管理者としてのキャリアアップの方向を示唆する。		・近い将来管理者の上級管理者の役割を担うことが想定される職員 ・現に施設長等運営統括責任者に就いている職員	

目的課題別研修

No	研修名	ねらい	日程	対象者	定員
26	福祉用具体験講座 I	高齢者疑似体験や車いす体験を通して、高齢者や障害者に対する理解を深めます。また、福祉用具を実際に体験し、福祉用具への関心を高めるとともに福祉用具の活用方法について学びます。	4～3月	一般県民	20×30回
27	小・中・高生の介護講座	高齢者疑似体験や車いす体験を通して、高齢者や障害者への理解を深めます。また、ボランティア活動や介護に対する関心を高めます。	4～3月	小学生（5年生以上）・中学生・高校生	20×30回
28	福祉用具・住宅改修研修（基礎研修・福祉用具研修）	福祉用具及び住宅改修に関する知識を習得し、利用者に対し、適切な介護サービス計画の作成が促進できるよう資質の向上を図ります。 ①基礎研修 ②福祉用具研修	①-1 5/15,22,29 ①-2 6/5,12,19 ②7/10,24,8/7	介護支援専門員等	①30×2回 ②30
29	福祉用具プランナー研修	介護の現場で福祉用具を適正に利用促進するために、福祉用具の選定・適合・評価等福祉用具に関する専門的知識を有する人材の養成を図ります。	e-ラーニング 8月～9月 集合研修 10月～11月	福祉・保健・医療等の専門職資格を有する者	30
30	乳幼児（0.1.2歳児）保育研修	乳幼児保育に必要な知識及び指導技術を習得し、保育内容の充実を図るとともに専門性を高めます。	①7/10 ②7/25	県内認可保育所、認定こども園で0.1,2歳児を担当する保育士、保育教諭	80×2回
31	障害児保育研修	障害児保育に必要な知識及び障害児保育担当者としての指導技術等を習得し、専門性を高めます。	①8/7 ②8/20	県内認可保育所、認定こども園の障害児保育担当保育士、保育教諭、児童発達支援センター職員	60×2回
32	新任職員接遇・コミュニケーション研修	新任の福祉職員（他業界から福祉職場へ入職者を含む）を対象に、福祉職場において必要な接遇スキルやマナー、コミュニケーション手法を学び、資質向上と職場定着を図ります。	①4/16 ②4/17 ③4/18	新任の福祉従事職員、他業界から福祉職場へ入職後3年以内の職員	60×3回
33	アクティブ・ワーキング研修（一般職員編、指導職員編）	職員のやる気を高め、行動の変容を促し、新たな能力の発揮を図ります。	（一般職員編） 6/11 （指導職員編） 7/30,31	（一般）入職後概ね3～10年の者 （指導）指導的職員、管理職員	70×2回
34	ホームヘルパー技術向上研修	実務経験のあるホームヘルパーに対し、より高度な知識の習得及び技術の向上を図ります。	9～1月	現任のホームヘルパー	①60 ②60 ③40
35	サービス提供責任者研修	サービス提供責任者として必要な知識の習得及び技術の向上を図り、訪問介護サービスの適正な提供及び資質の向上を図ります。	10～11月	指定訪問介護事業所のサービス提供責任者	80
36	介護支援専門員更新研修	介護支援専門員として必要な知識及び技能の向上を図り、専門職としての能力の保持・向上を図ります。	8～10月	介護支援専門員（実務経験なしの方）	100
37	介護支援専門員再研修	介護支援専門員として必要な知識及び技能の向上を図り、専門職としての能力の保持・向上を図ります。	8～10月	介護支援専門員（有効期間切れの方）	50

No	研修名	ねらい	日程	対象者	定員
38	介護支援専門員実務研修	介護支援専門員実務研修受講試験合格者に対し、介護支援専門員として必要な専門的知識及び技術の習得を図ります。	12～3月	介護支援専門員実務研修受講試験合格者	60
39	障害者(児)ホームヘルパー等養成研修	障害の特性に配慮した適切なホームヘルプサービスを提供するため、必要な知識と技能を有するホームヘルパーの養成を図ります。	6～7月	実務者研修、介護職員初任者研修修了者及び介護福祉士	40
40	強度行動障害支援者養成研修(基礎研修、実践研修)	強度行動障害を有する者に対し適切な支援を行うことができる人材育成を図ります。	(基礎研修) 9/10,11 (実践研修) 12/3,4	強度行動障害を有する者に対する支援を行う職員	基礎研修 80 実践研修 80
41	福祉サービス第三者評価評価調査者継続研修	福祉サービス第三者評価評価調査者の資質向上を目的に、評価技法や関係する分野等を学習します。	10月	第三者評価評価調査者	70×3回
42	福祉サービス第三者評価評価調査者養成研修	福祉サービス第三者評価評価調査者を養成します。	11月	第三者評価評価調査者資格取得希望者 ・組織運営管理業務3年以上経験者等 ・福祉・医療・保健分野の有資格者で3年以上経験者等	未定
43	富山型デイサービス起業家育成講座	「地域密着・小規模・多機能」をコンセプトにした柔軟な民間デイケアサービスの起業を望む個人の方に対するの実務講座です。	7～11月	富山型デイサービス事業の起業を目指している者	40
44 ※	民生委員・児童委員会会長研修	地域福祉の担い手である民生委員・児童委員の指導者としての役割について研修し、地域福祉活動の強化を図ります。	6/13	市町村・地区民生委員児童委員協議会長	190
45 ※	中堅民生委員・児童委員研修	社会福祉制度の充実が図られている中、家庭子育て支援や地域福祉活動の担い手である民生委員・児童委員の活動推進と資質向上を図ります。	11/19	民生委員・児童委員	300
46 ※	民生委員・児童委員課題別研修	具体的な実践活動を展開するために必要な知識・技術を研究討議し、住民の立場に立った相談支援活動の推進を図ります。	未定	民生委員・児童委員	50×2回
47 ※	新任民生委員・児童委員	2019年12月1日付けで委嘱された1期目の民生委員・児童委員が、地域福祉の現状や課題を理解し、民生委員・児童委員の役割と活動内容について研修し、これからの活動の推進を図ります。	1/31	新任民生委員・児童委員	1,100
48 ※	主任児童委員研修	地域の児童問題に関する相談・支援の中心的役割を担う主任児童委員に対し、その現状や課題について学習し、今後の活動の積極的推進を図ります。	8/26	主任児童委員	270
49 ※	児童委員研修	地域に根ざした児童委員活動の展開や、関係機関との連携のあり方について認識を深め、今後の円滑な活動の推進を図ります。	8/26	児童委員	300
50	ハートフル保育普及研修会(初任者研修)	保育所等における特別な配慮を要する児童増加に対応するため、発達障害に関する基礎的な知識を習得することにより、保育全体における発達障害児支援のスキル向上を図ります。	6月	県内保育所、認定こども園に勤務する保育士・保育教諭(主として初任者)、放課後児童クラブ指導員、子育て支援センター職員、とやまっ子さん広場世話人等	200
51	新 社会福祉法人監事研修	富山県内の社会福祉法人の監事職にある方等に社会福祉法人を取り巻く環境変化と監査の着眼点について理解を深めていただきます。	未定	富山県内の社会福祉法人の監事等	50
52	新 社会福祉法人監査担当者研修	社会福祉法人の監査指導業務に従事する県及び市町村の行政職員に社会福祉法人に対する指導の着眼点について理解を深めていただきます。	未定	社会福祉法人指導監査担当の行政職員	50

※は富山県民生委員児童委員協議会との共同開催研修

福祉カレッジのホームページから直接研修のお申し込みができます

福祉カレッジのホームページの利用者登録をしていただくと、ホームページから直接、研修のお申込みをいただけます。ファックスなどの手間がかかりません。

◎福祉カレッジホームページ

<https://www.toyama-shakyo.or.jp/tfcollege/>

◎利用者登録ページ

<https://www.toyama-shakyo.or.jp/sslforms/tfcollege-client.php>

◎研修申込ページ

<https://www.toyama-shakyo.or.jp/sslforms/tfcollege-tr.php>

ご不明の点は、富山県福祉カレッジ教務課（☎076-432-6513）までお問い合わせください。



社会福祉法人 富山県社会福祉協議会

富山県福祉カレッジ

〒930-0094 富山県安住町5-21 富山県総合福祉会館(サンシップとやま)2階

富山県福祉カレッジ教務課

TEL.076-432-6513 FAX.076-432-6516
<https://www.toyama-shakyo.or.jp/tfcollege/>

富山県介護実習・普及センター

TEL.076-432-6305 FAX.076-432-6307
<https://www.toyama-shakyo.or.jp/hukyu/>